

VOL.53

2010年度 進路のしおり



鳥取県立倉吉東高等学校

●目 次●

巻 頭 言	考え方や姿勢を先輩から学ぼう 学校長 名 越 和 範	1
進路部より	感謝のないところに道はない 進路指導部主任 芝 野 浩 貴	2
特 別 寄 稿	社会学への道 ―その第一歩のころ― 倉吉東高第17回卒業 盛 山 和 夫	3
	平成19年度入学生との3年間を振り返って 旧第3学年主任 米 村 親 直	7
文科教養類型		12
3年2組	困ったときに読んでください 旧担任 甲 斐 清 《私の奮戦記・親子の奮戦記》	
3年4組	挑戦そしてこれからの道 旧担任 定 常 弘 顕 《私の奮戦記・親子の奮戦記》	
3年6組	逃げるのか、闘うのか 旧担任 牧 野 圭 介 《私の奮戦記》	
理科教養類型		27
3年1組	倉吉東高校の力 旧担任 米 村 親 直 《私の奮戦記・親子の奮戦記》	
3年5組	大きな壁を乗り越えて 旧担任 置 名 浩 樹 《私の奮戦記・親子の奮戦記》	
学 術 類 型		38
3年3組	3年間を振り返って 旧担任 木 村 彰 志 《私の奮戦記・親子の奮戦記》	
	『理系への数学』より 『担任力』 PrePass代表 米 谷 達 也	52
専 攻 科	《私の奮戦記》	53
	2010年度大学入試を振り返る	57
	2011年度入試年間スケジュール等	64
	過去5年間各大学別本校生合格者数	67
	大学入試難易ランキング表	76
	募集要項請求	99
	平成22年度進路指導年間計画	100

学力向上の心構え 5 か条

大学入試や就職試験を突破するためには、学力の向上が不可欠であり、厳しい道を歩まなければならない。スランプの時期も生じてこよう。投げ出したくなることもある。しかし、この時期を乗り越えることが自分の将来に結びつくのである。当面する選抜試験突破だけに目をおかず、自分の将来をしっかりと考えた進路選定が、活力を生み、踏んばる気力に結びつくのである。

一. Challenge精神を持つ

人はだれでも、困難なほうより安易なほうへ流れたいという気持ちがある。最近の高校生も“科目数はできるだけ少ないほうへ”“自分の学力相応のところへ”という傾向が顕著になってきている。しかし、このような考え方は、自分の将来の可能性を狭くし、学力の伸びを小さくすることになる。常に“現在よりやや上のレベル”を目ざす、Challenge精神があつてこそ、学力が伸びるのである。

一. ターゲットを定め、計画的な学習を進めよう

大学入試や就職試験は、選抜を目的にしており、試験科目の内容も必要度によって違ってくる。しがって、目標が定まらなければ、学習すべき科目も定まらないし、学習の計画を立てようもない。ターゲットを定め、計画的に学習を進めよう。計画があまり無理な内容では、計画倒れになりかねないので、着実に実行可能な計画にしたい。

一. 教室こそが、学力向上のための道場である。

現役生にとって、学力を練りあげていく場は授業であり、教科書を中心として授業を第一とする学習が学力の源泉である。授業をおろそかにして自学習を行なっても、そこには限度があるし、非効率的なやり方である。受け身で授業に臨まず、予習によって疑問点を浮きぼりにして、授業で解決する。そして復習によって確実に理解することが学力向上の基本である。特に受験科目は、授業をこなすことが即受験学習なのである。

一. 1点をおろそかにする者は1点に泣く

計画を立てて学習を行なっても、どの程度学力に結びついたかどうかは確認できない。自己評価はとかく甘くなりがちなのである。学力のチェックには校内や校外の模試が有効である。模試は、判定を受けるだけでは受験しても効果はない。どの科目がレベルをクリアしていないのか、失点の原因がどこにあったのか……等、結果のチェックこそが大切なのである。そして、同じ誤りをしないようにしていく—1点を大切にすること—が学力を向上させるのである。

一. To go on is to go up. Practice makes perfect.

学力は一朝一夕に身につくものではない。追い込み学習で力が発揮できるかどうかは、それまでの学習の積み重ねの質と量によって程度も違ってくる。やはり、学習は即効性を追い求めるより、地道な一步一步が実を結ぶのである。“継続は力なり”“習うより慣れる”が学習の基本なのである。